

### 10) 廃用の程度関連

要介護度区分別に、「日中の生活」は、軽度と中度、中度と重度、軽度と重度のどの群間においても、有意差が見られたが、「外出の頻度」については、軽度と中度の間には有意差が見られず、中度と重度および軽度と重度の身に有意差が見られた。「生活状況の変化」については、どの群間においても、有意差が見られなかった。

表 6-20 廃用の程度に関連する項目

	要介護度区分						P値			
	軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度	
	N	%	N	%	N	%				
日中の生活	1 よく動いている	14	11.5%	11	6.0%	6	3.7%	**	**	**
	2 座っていることが多い	80	65.6%	100	54.6%	31	18.9%			
	3 横になっていることが多い	28	23.0%	72	39.3%	127	77.4%			
外出頻度	1 週1回以上	107	87.0%	150	82.0%	90	55.6%		**	**
	2 月1回以上	9	7.3%	18	9.8%	12	7.4%			
	3 月1回未満	7	5.7%	15	8.2%	60	37.0%			
生活状況の変化	1 ない	104	84.6%	161	89.0%	146	90.7%			
	2 ある	19	15.4%	20	11.0%	15	9.3%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

### 11) 社会生活適応に関連する項目（会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、集団参加ができない）

「買い物」および「簡単な調理」については、軽度と中度、中度と重度のいずれの群間において有意差が見られた。「会話にならない」、「自分勝手な行動」は、どの群間にも有意差はなかった。また、「意味ない独り言」については、軽度と重度の間のみ有意な差があった。「集団参加ができない」については、軽度と中度の間のみ有意差が見られた。

表 6-21 要介護度別会話にならない、社会生活適応に関連する項目（買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、集団参加ができない）の回答傾向

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
会話にならない	1 ない	90	74.4%	124	68.1%	118	74.2%			
	2 まれにある	18	14.9%	23	12.6%	7	4.4%			
	3 とくどきある	7	5.8%	12	6.6%	6	3.8%			
	4 よくある	6	5.0%	23	12.6%	28	17.6%			
買い物	1 できる	24	19.7%	7	3.8%	0	0.0%	**	**	**
	2 見守り	12	9.8%	1	0.5%	0	0.0%			
	3 一部介助	30	24.6%	27	14.7%	4	2.5%			
	4 全介助	56	45.9%	149	81.0%	158	97.5%			
簡単な調理	1 できる	25	20.5%	4	2.2%	1	0.6%	**	**	**
	2 見守り	7	5.7%	4	2.2%	1	0.6%			
	3 一部介助	33	27.0%	18	9.8%	3	1.9%			
	4 全介助	57	46.7%	156	85.9%	157	96.9%			
自分勝手な行動	1 ない	82	67.2%	109	59.9%	110	69.2%			
	2 まれにある	15	12.3%	24	13.2%	13	8.2%			
	3 とくどきある	12	9.8%	19	10.4%	15	9.4%			
	4 よくある	13	10.7%	30	16.5%	21	13.2%			
意味の独り言等	1 ない	111	91.0%	154	85.1%	124	77.5%			**
	2 まれにある	1	0.8%	6	3.3%	12	7.5%			
	3 とくどきある	3	2.5%	9	5.0%	9	5.6%			
	4 よくある	7	5.7%	12	6.6%	15	9.4%			
集団参加ができない	1 ない	98	80.3%	118	64.8%	114	72.2%	**		
	2 まれにある	11	9.0%	31	17.0%	10	6.3%			
	3 とくどきある	6	4.9%	12	6.6%	5	3.2%			
	4 よくある	7	5.7%	21	11.5%	29	18.4%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

### (3) 要介護度区分別モデル事業における回答傾向との比較

ここでは、モデル事業認定データを用いて、要介護認定に必要な84項目および会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができないの6項目を加えた90項目について、軽度（要支援1、要支援2、要介護1）、中度（要介護2、3）、重度（要介護4、5）の3群間の状態像に差異があるかについて比較を行った。

#### 1) 麻痺・関節制限関連

麻痺・関節制限関連項目については、モデル事業認定データにおいては、すべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-22 麻痺・関節制限関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
左上肢	1 なし	16,043	94.4%	5,836	85.7%	1,367	67.4%	**	**	**
	2 あり	945	5.6%	973	14.3%	660	32.6%			
右上肢	1 なし	16,023	94.3%	5,878	86.3%	1,380	68.1%	**	**	**
	2 あり	965	5.7%	931	13.7%	647	31.9%			
左下肢	1 なし	4,341	25.6%	905	13.3%	103	5.1%	**	**	**
	2 あり	12,647	74.4%	5,904	86.7%	1,924	94.9%			
右下肢	1 なし	4,336	25.5%	899	13.2%	105	5.2%	**	**	**
	2 あり	12,652	74.5%	5,910	86.8%	1,922	94.8%			
その他	1 なし	13,119	77.2%	4,902	72.0%	1,395	68.8%	**	**	**
	2 あり	3,869	22.8%	1,907	28.0%	632	31.2%			
肩関節	1 なし	13,960	82.2%	4,956	72.8%	1,300	64.1%	**	**	**
	2 あり	3,028	17.8%	1,853	27.2%	727	35.9%			
肘関節	1 なし	16,372	96.4%	6,208	91.2%	1,672	82.5%	**	**	**
	2 あり	616	3.6%	601	8.8%	355	17.5%			
股関節	1 なし	15,601	91.8%	6,113	89.8%	1,593	78.6%	**	**	**
	2 あり	1,387	8.2%	696	10.2%	434	21.4%			
膝関節	1 なし	10,478	61.7%	4,295	63.1%	1,188	58.6%	*	**	**
	2 あり	6,510	38.3%	2,514	36.9%	839	41.4%			
足関節	1 なし	16,126	94.9%	6,022	88.4%	1,666	82.2%	**	**	**
	2 あり	862	5.1%	787	11.6%	361	17.8%			
その他	1 なし	15,178	89.3%	5,773	84.8%	1,641	81.0%	**	**	**
	2 あり	1,810	10.7%	1,036	15.2%	386	19.0%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## 2) 移動等関連

移動等関連項目についても、モデル事業認定データにおいては、すべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-23 要介護度区分別移動等関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
寝返り	1 つかまらないうでできる 2 何かにつかまればできる 3 できない	9,359 7,544 85	55.1% 44.4% 0.5%	2,135 4,376 298	31.4% 64.3% 4.4%	221 1,018 788	10.9% 50.2% 38.9%	**	**	**
起き上がり	1 つかまらないうでできる 2 何かにつかまればできる 3 できない	2,347 14,493 148	13.8% 85.3% 0.9%	563 5,466 780	8.3% 80.3% 11.5%	55 636 1,336	2.7% 31.4% 65.9%	**	**	**
座位保持	1 できる 2 自分の手で支えればできる 3 支えてもらえればできる 4 できない	9,663 5,866 1,451 8	56.9% 34.5% 8.5% 0.0%	2,454 2,704 1,611 40	36.0% 39.7% 23.7% 0.6%	208 411 1,211 197	10.3% 20.3% 59.7% 9.7%	**	**	**
両足立位保持	1 支えなしでできる 2 何か支えがあればできる 3 できない	11,958 5,100 30	69.8% 30.0% 0.2%	2,373 4,031 405	34.9% 59.2% 5.9%	166 700 1,161	8.2% 34.5% 57.3%	**	**	**
歩行	1 つかまらないうでできる 2 何かにつかまればできる 3 できない	6,735 10,059 194	39.6% 59.2% 1.1%	1,217 4,559 1,033	17.9% 67.0% 15.2%	105 507 1,415	5.2% 25.0% 69.8%	**	**	**
移乗	1 できる 2 見守り等 3 一部介助 4 全介助	15,983 978 27 0	94.1% 5.8% 0.2% 0.0%	3,408 2,314 965 122	50.1% 34.0% 14.2% 1.8%	92 149 837 949	4.5% 7.4% 41.3% 46.8%	**	**	**
移動	1 できる 2 見守り等 3 一部介助 4 全介助	14,891 1,924 169 4	87.7% 11.3% 1.0% 0.0%	2,567 2,549 1,334 359	37.7% 37.4% 19.6% 5.3%	56 182 575 1,214	2.8% 9.0% 28.4% 59.9%	**	**	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## 3) 複雑な動作等関連

複雑な動作等関連項目についても、モデル事業認定データにおいては、すべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-24 要介護程度区分別複雑な動作等関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
立ち上がり	1 つかまらないうでできる 2 何かにつかまればできる 3 できない	1,059 15,905 24	6.2% 93.6% 0.1%	260 5,901 648	3.8% 86.7% 9.5%	28 554 1,445	1.4% 27.3% 71.3%	**	**	**
片足立位保持	1 支えなしでできる 2 何か支えがあればできる 3 できない	2,793 13,475 720	16.4% 79.3% 4.2%	488 4,326 1,995	7.2% 63.5% 29.3%	35 332 1,660	1.7% 16.4% 81.9%	**	**	**
洗身	1 できる 2 一部介助 3 全介助 4 行っていない	9,770 6,818 294 106	57.5% 40.1% 1.7% 0.6%	575 4,406 1,628 200	8.4% 64.7% 23.9% 2.9%	1 295 1,543 188	0.0% 14.6% 76.1% 9.3%	**	**	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## 4) 特別な介護等関連

特別な介護等関連項目についても、モデル事業認定データにおいては、すべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-25 要介護度区分別特別な介護等関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
じよくそう	1 ない	16,893	99.4%	6,559	96.3%	1,670	82.4%	**	**	**
	2 ある	95	0.6%	250	3.7%	357	17.6%			
皮膚疾患	1 ない	11,826	69.6%	4,382	64.4%	1,173	57.9%	**	**	**
	2 ある	5,162	30.4%	2,427	35.6%	854	42.1%			
えん下	1 できる	15,429	90.8%	5,198	76.3%	980	48.3%	**	**	**
	2 見守り等	1,559	9.2%	1,604	23.6%	961	47.4%			
	3 できない	0	0.0%	7	0.1%	86	4.2%			
食事摂取	1 できる	16,392	96.5%	4,925	72.3%	491	24.2%	**	**	**
	2 見守り等	440	2.6%	1,148	16.9%	364	18.0%			
	3 一部介助	156	0.9%	724	10.6%	656	32.4%			
	4 全介助	0	0.0%	12	0.2%	516	25.5%			
飲水	1 できる	15,724	92.6%	3,731	54.8%	264	13.0%	**	**	**
	2 見守り等	1,119	6.6%	2,483	36.5%	687	33.9%			
	3 一部介助	144	0.8%	587	8.6%	694	34.2%			
	4 全介助	1	0.0%	8	0.1%	382	18.8%			
排尿	1 できる	14,890	87.7%	1,529	22.5%	14	0.7%	**	**	**
	2 見守り等	975	5.7%	967	14.2%	14	0.7%			
	3 一部介助	1,101	6.5%	2,749	40.4%	154	7.6%			
	4 全介助	22	0.1%	1,564	23.0%	1,845	91.0%			
排便	1 できる	15,429	90.8%	1,772	26.0%	9	0.4%	**	**	**
	2 見守り等	887	5.2%	1,046	15.4%	13	0.6%			
	3 一部介助	644	3.8%	2,377	34.9%	137	6.8%			
	4 全介助	28	0.2%	1,614	23.7%	1,868	92.2%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

### 5) 身の回りの世話等関連

身の回りの世話等関連項目についても、モデル事業認定データにおいては、すべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-26 要介護度区分別身の回りの世話等関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
口腔清潔	1 できる	16,384	96.4%	3,450	50.7%	70	3.5%	**	**	**
	2 一部介助	597	3.5%	3,164	46.5%	1,088	53.7%			
	3 全介助	7	0.0%	195	2.9%	869	42.9%			
洗顔	1 できる	16,500	97.1%	3,708	54.5%	82	4.0%	**	**	**
	2 一部介助	476	2.8%	2,795	41.0%	852	42.0%			
	3 全介助	12	0.1%	306	4.5%	1,093	53.9%			
整髪	1 できる	16,580	97.6%	4,354	63.9%	201	9.9%	**	**	**
	2 一部介助	345	2.0%	1,834	26.9%	584	28.8%			
	3 全介助	63	0.4%	621	9.1%	1,242	61.3%			
つめ切り	1 できる	9,270	54.6%	838	12.3%	16	0.8%	**	**	**
	2 一部介助	4,560	26.8%	1,404	20.6%	73	3.6%			
	3 全介助	3,158	18.6%	4,567	67.1%	1,938	95.6%			
上衣の着脱	1 できる	14,757	86.9%	1,602	23.5%	6	0.3%	**	**	**
	2 見守り等	828	4.9%	1,127	16.6%	46	2.3%			
	3 一部介助	1,395	8.2%	3,837	56.4%	1,021	50.4%			
	4 全介助	8	0.0%	243	3.6%	954	47.1%			
ズボン等着脱	1 できる	14,932	87.9%	1,412	20.7%	2	0.1%	**	**	**
	2 見守り等	876	5.2%	1,071	15.7%	34	1.7%			
	3 一部介助	1,173	6.9%	3,860	56.7%	685	33.8%			
	4 全介助	7	0.0%	466	6.8%	1,306	64.4%			
薬の内服	1 できる	10,736	63.2%	1,007	14.8%	35	1.7%	**	**	**
	2 一部介助	6,229	36.7%	5,558	81.6%	1,145	56.5%			
	3 全介助	23	0.1%	244	3.6%	847	41.8%			
金銭の管理	1 できる	10,797	63.6%	1,308	19.2%	127	6.3%	**	**	**
	2 一部介助	5,215	30.7%	2,848	41.8%	394	19.4%			
	3 全介助	976	5.7%	2,653	39.0%	1,506	74.3%			
電話の利用	1 できる	9,966	58.7%	1,225	18.0%	95	4.7%	**	**	**
	2 一部介助	5,996	35.3%	3,510	51.5%	601	29.6%			
	3 全介助	1,026	6.0%	2,074	30.5%	1,331	65.7%			
日常の意思決定	1 できる	10,414	61.3%	1,718	25.2%	226	11.1%	**	**	**
	2 特別な場合を除いてできる	5,695	33.5%	2,925	43.0%	547	27.0%			
	3 日常的に困難	876	5.2%	2,120	31.1%	1,007	49.7%			
	4 できない	3	0.0%	46	0.7%	247	12.2%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## 6) コミュニケーション等関連

コミュニケーション等関連項目についても、モデル事業認定データにおいては、すべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-27 要介護度区分別コミュニケーション等関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
視力	1 普通	13,743	80.9%	4,868	71.5%	1,251	61.7%	**	*	**
	2 約1m離れた視力確認票の図が見える	2,698	15.9%	1,550	22.8%	514	25.4%			
	3 目の前に置いた視力確認票の図が見える	422	2.5%	287	4.2%	160	7.9%			
	4 ほとんど見えない	125	0.7%	104	1.5%	54	2.7%			
	5 見えているのか判断不能	0	0.0%	0	0.0%	48	2.4%			
聴力	1 普通	9,638	56.7%	3,438	50.5%	1,010	49.8%	**	**	**
	2 普通の声がやっと聞こえる	5,454	32.1%	2,130	31.3%	567	28.0%			
	3 かなり大きな声なら何とか聞こえる	1,838	10.8%	1,180	17.3%	404	19.9%			
	4 ほとんど聞こえない	58	0.3%	61	0.9%	25	1.2%			
	5 聞こえているのか判断不能	0	0.0%	0	0.0%	21	1.0%			
意思の伝達	1 伝達できる	15,696	92.4%	4,670	68.6%	811	40.0%	**	**	**
	2 ときどき伝達できる	1,265	7.4%	1,986	29.2%	839	41.4%			
	3 ほとんど伝達できない	25	0.1%	143	2.1%	286	14.1%			
	4 できない	2	0.0%	10	0.1%	91	4.5%			
指示への反応	1 指示が通じる	15,149	89.2%	4,275	62.8%	866	42.7%	**	**	**
	2 指示がときどき通じる	1,838	10.8%	2,512	36.9%	1,022	50.4%			
	3 指示が通じない	1	0.0%	22	0.3%	139	6.9%			
毎日の日課を理解	1 できる	15,225	89.6%	3,893	57.2%	649	32.0%	**	**	**
	2 できない	1,763	10.4%	2,916	42.8%	1,378	68.0%			
生年月日を答える	1 できる	16,736	98.5%	6,056	88.9%	1,308	64.5%	**	**	**
	2 できない	252	1.5%	753	11.1%	719	35.5%			
直前を思い出す	1 できる	14,343	84.4%	3,778	55.5%	695	34.3%	**	**	**
	2 できない	2,645	15.6%	3,031	44.5%	1,332	65.7%			
名前を答える	1 できる	16,978	99.9%	6,755	99.2%	1,799	88.8%	**	**	**
	2 できない	10	0.1%	54	0.8%	228	11.2%			
今の季節を理解	1 できる	16,137	95.0%	5,117	75.2%	937	46.2%	**	**	**
	2 できない	851	5.0%	1,692	24.8%	1,090	53.8%			
場所を答える	1 できる	16,886	99.4%	6,288	92.3%	1,397	68.9%	**	**	**
	2 できない	102	0.6%	521	7.7%	630	31.1%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## 7) BPSD等関連

モデル事業認定データにおいては、BPSD等関連項目について在宅タイムスタディの結果と比較すると、概ね要介護区分によって有意差が示されたが、「作話」、「感情が不安定」、「一人で戻れない」、「目が離せない」、「無断で収集」においては、中度と重度群の間に有意差が見られなかった。また「ひどい物忘れ」については、軽度と中度群間に有意差がみられなかった。それ以外のすべての項目において、要介護度区分ごとに統計的に有意な差があった。

表 6-28 要介護度区分別BPSD等関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
被害的	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,081 409 498	94.7% 2.4% 2.9%	5,866 306 637	86.2% 4.5% 9.4%	1,829 66 132	90.2% 3.3% 6.5%	**	**	**
作話	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,626 149 213	97.9% 0.9% 1.3%	6,364 157 288	93.5% 2.3% 4.2%	1,910 38 79	94.2% 1.9% 3.9%	**		**
幻視・幻聴	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,476 237 275	97.0% 1.4% 1.6%	5,882 360 567	86.4% 5.3% 8.3%	1,582 143 302	78.0% 7.1% 14.9%	**	**	**
感情が不安定	1 ない 2 ときどきある 3 ある	14,610 914 1,464	86.0% 5.4% 8.6%	4,797 580 1,432	70.5% 8.5% 21.0%	1,419 141 467	70.0% 7.0% 23.0%	**		**
昼夜逆転	1 ない 2 ときどきある 3 ある	15,464 570 954	91.0% 3.4% 5.6%	5,148 456 1,205	75.6% 6.7% 17.7%	1,340 137 550	66.1% 6.8% 27.1%	**	**	**
暴言や暴行	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,298 273 417	95.9% 1.6% 2.5%	5,806 315 688	85.3% 4.6% 10.1%	1,651 82 294	81.5% 4.0% 14.5%	**	**	**
同じ話や不快な音	1 ない 2 ときどきある 3 ある	14,047 603 2,338	82.7% 3.5% 13.8%	4,433 283 2,093	65.1% 4.2% 30.7%	1,442 65 520	71.1% 3.2% 25.7%	**	**	**
大声を出す	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,329 281 378	96.1% 1.7% 2.2%	5,773 324 712	84.8% 4.8% 10.5%	1,599 89 339	78.9% 4.4% 16.7%	**	**	**
介護に抵抗	1 ない 2 ときどきある 3 ある	15,884 394 710	93.5% 2.3% 4.2%	5,164 424 1,221	75.8% 6.2% 17.9%	1,458 123 446	71.9% 6.1% 22.0%	**	**	**
目的無く動き回る	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,951 42 95	99.2% 0.2% 0.6%	6,347 95 367	93.2% 1.4% 5.4%	1,828 39 160	90.2% 1.9% 7.9%	**	**	**
落ち着きが無い	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,807 67 114	98.9% 0.4% 0.7%	6,257 148 404	91.9% 2.2% 5.9%	1,802 70 155	88.9% 3.5% 7.6%	**	**	**
1人で戻れない	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,841 124 23	99.1% 0.7% 0.1%	6,521 135 153	95.8% 2.0% 2.2%	1,954 24 49	96.4% 1.2% 2.4%	**		**
目が醒せない	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,850 60 78	99.2% 0.4% 0.5%	6,299 177 333	92.5% 2.6% 4.9%	1,863 45 119	91.9% 2.2% 5.9%	**		**
無断で収集	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,869 43 76	99.3% 0.3% 0.4%	6,488 84 237	95.3% 1.2% 3.5%	1,930 20 77	95.2% 1.0% 3.8%	**		**
火元の管理	1 ない 2 ときどきある 3 ある	15,269 1,324 395	89.9% 7.8% 2.3%	6,224 320 265	91.4% 4.7% 3.9%	1,981 21 25	97.7% 1.0% 1.2%	**	**	**
物や衣服の破壊	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,956 25 7	99.8% 0.1% 0.0%	6,677 75 57	98.1% 1.1% 0.8%	1,949 25 53	96.2% 1.2% 2.6%	**	**	**
不潔な行為	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,976 9 3	99.9% 0.1% 0.0%	6,705 43 61	98.5% 0.6% 0.9%	1,924 51 52	94.9% 2.5% 2.6%	**	**	**
異食行動	1 ない 2 ときどきある 3 ある	16,966 13 9	99.9% 0.1% 0.1%	6,716 58 35	98.6% 0.9% 0.5%	1,929 42 56	95.2% 2.1% 2.8%	**	**	**
ひどい物忘れ	1 ない 2 ときどきある 3 ある	10,794 2,166 4,028	63.5% 12.8% 23.7%	2,861 665 3,283	42.0% 9.8% 48.2%	1,114 106 807	55.0% 5.2% 39.8%		**	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## 8) 特別な医療関連

特別な医療関連項目についても、在宅タイムスタディの結果と比較すると、有意差が見られたが、モデル事業認定データにおいては、「透析」「ストーマ」「疼痛の管理」において、中度と重度群の間に有意差が見られなかった。

また「点滴」「レスピレーター」「気管切開処置」「モニター測定」については、軽度と中度群間に有意差がみられなかった。それ以外のすべての項目において、要介護程度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-29 要介護度区分別特別な医療関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
点滴	1 なし 2 あり	16,532 456	97.3% 2.7%	6,638 171	97.5% 2.5%	1,909 118	94.2% 5.8%	**	**	**
中心静脈栄養	1 なし 2 あり	16,985 3	100.0% 0.0%	6,802 7	99.9% 0.1%	2,012 15	99.3% 0.7%	**	**	**
透折	1 なし 2 あり	16,787 201	98.8% 1.2%	6,664 145	97.9% 2.1%	1,988 39	98.1% 1.9%	**		**
ストーマ	1 なし 2 あり	16,962 26	98.8% 0.2%	6,785 24	99.6% 0.4%	2,014 13	99.4% 0.6%	**		**
酸素療法	1 なし 2 あり	16,768 220	98.7% 1.3%	6,687 122	98.2% 1.8%	1,959 68	96.6% 3.4%	**	**	**
レスピレーター	1 なし 2 あり	16,980 8	100.0% 0.0%	6,807 2	100.0% 0.0%	2,023 4	99.8% 0.2%	**	*	*
気管切開処置	1 なし 2 あり	16,977 11	99.9% 0.1%	6,803 6	99.9% 0.1%	2,012 15	99.3% 0.7%	**	**	**
疼痛の管理	1 なし 2 あり	16,793 195	98.9% 1.1%	6,706 103	98.5% 1.5%	1,992 35	98.3% 1.7%	*		*
経管栄養	1 なし 2 あり	16,988 0	100.0% 0.0%	6,801 8	99.9% 0.1%	1,941 86	95.8% 4.2%	**	**	**
モニター測定	1 なし 2 あり	16,984 4	100.0% 0.0%	6,805 4	99.9% 0.1%	2,021 6	99.7% 0.3%	**	**	**
じょくそうの処置	1 なし 2 あり	16,978 10	99.9% 0.1%	6,744 65	99.0% 1.0%	1,849 178	91.2% 8.8%	**	**	**
カテーテル	1 なし 2 あり	16,954 34	99.8% 0.2%	6,732 77	98.9% 1.1%	1,893 134	93.4% 6.6%	**	**	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

### 9) 寝たきり度および認知症度

寝たきり度および認知症度については、在宅タイムスタディと同様すべての群間に有意差が見られた。

表 6-30 要介護度区分別寝たきり度および認知症度の回答傾向 (モデル事業)

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
寝たきり度	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2	148 1,350 7,002 5,181 3,150 154 3 0 0	0.9% 7.9% 41.2% 30.5% 18.5% 0.9% 0.0% 0.0% 0.0%	31 30 537 1,821 2,662 1,128 540 50 10	0.5% 0.4% 7.9% 26.7% 39.1% 16.6% 7.9% 0.7% 0.1%	3 0 18 111 170 217 796 303 409	0.1% 0.0% 0.9% 5.5% 8.4% 10.7% 39.3% 14.9% 20.2%	**	**	**
認知症度	1 自立 2 I 3 IIa 4 IIb 5 IIIa 6 IIIb 7 IV 8 M	6,944 5,726 1,914 2,222 167 14 1 0	40.9% 33.7% 11.3% 13.1% 1.0% 0.1% 0.0% 0.0%	1,011 1,313 953 1,806 1,362 302 56 6	14.8% 19.3% 14.0% 26.5% 20.0% 4.4% 0.8% 0.1%	145 230 152 378 625 238 229 30	7.2% 11.3% 7.5% 18.6% 30.8% 11.7% 11.3% 1.5%	**	**	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

### 10) 廃用の程度関連

廃用の程度関連については、モデル事業認定データについては、すべての項目について有意差がみられた。

表 6-31 要介護度区分別廃用の程度関連項目の回答傾向 (モデル事業)

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
日中の生活	1 よく動いている 2 座っていることが多い 3 横になっていることが多い	1,947 10,298 4,743	11.5% 60.6% 27.9%	241 3,132 3,436	3.5% 46.0% 50.5%	37 521 1,469	1.8% 25.7% 72.5%	**	**	**
外出頻度	1 週1回以上 2 月1回以上 3 月1回未満	12,811 3,376 801	75.4% 19.9% 4.7%	4,500 1,486 823	66.1% 21.8% 12.1%	1,086 350 591	53.6% 17.3% 29.2%	**	**	**
生活状況の変化	1 ない 2 ある	16,227 761	95.5% 4.5%	6,375 434	93.6% 6.4%	1,861 166	91.8% 8.2%	**	**	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

11) 社会生活適応関連項目（会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができない）

会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができないの6項目については、自分勝手な行動の軽度と重度の群間以外には、すべて有意差がみられた。

表 6-32 要介護度区分別社会生活適応関連項目（会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができない）の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
会話にならない	1 ない	13,734	80.8%	3,566	52.4%	887	43.8%	**	**	**
	2 まれにある	1,291	7.6%	766	11.2%	147	7.3%			
	3 ときどきある	1,046	6.2%	1,019	15.0%	282	13.9%			
	4 よくある	917	5.4%	1,458	21.4%	711	35.1%			
買い物	1 できる	10,373	61.1%	1,078	15.8%	94	4.6%	**	**	**
	2 見守り	1,929	11.4%	664	9.8%	50	2.5%			
	3 一部介助	2,874	16.9%	1,976	29.0%	265	13.1%			
	4 全介助	1,812	10.7%	3,091	45.4%	1,618	79.8%			
簡単な調理	1 できる	8,421	49.6%	513	7.5%	27	1.3%	**	**	**
	2 見守り	1,340	7.9%	295	4.3%	10	0.5%			
	3 一部介助	3,799	22.4%	1,391	20.4%	88	4.3%			
	4 全介助	3,428	20.2%	4,610	67.7%	1,902	93.8%			
自分勝手な行動	1 ない	13,849	81.5%	3,916	57.5%	1,181	58.3%	**		**
	2 まれにある	1,062	6.3%	589	8.7%	112	5.5%			
	3 ときどきある	1,025	6.0%	815	12.0%	194	9.6%			
	4 よくある	1,052	6.2%	1,489	21.9%	540	26.6%			
意味の独り言等	1 ない	15,773	92.8%	5,345	78.5%	1,386	68.4%	**	**	**
	2 まれにある	434	2.6%	312	4.6%	105	5.2%			
	3 ときどきある	339	2.0%	421	6.2%	168	8.3%			
	4 よくある	442	2.6%	731	10.7%	368	18.2%			
集団参加ができない	1 ない	12,115	71.3%	4,024	59.1%	1,068	52.7%	**	**	**
	2 まれにある	1,021	6.0%	466	6.8%	88	4.3%			
	3 ときどきある	1,024	6.0%	542	8.0%	132	6.5%			
	4 よくある	2,828	16.6%	1,777	26.1%	739	36.5%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

6. 介護保険サービスの利用状況

(1) サービスの利用の有無

介護保険サービスの利用状況について、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸の7種類について、要介護度区分別の差異を検討した。

軽度群と中度群の間には、福祉用具貸与を除き、サービス利用の有無について統計的な有意差は見られなかった。訪問介護、訪問入浴、訪問看護、福祉用具貸与には、軽度と中度、および軽度と重度の間に統計的な有意差が見られた。訪問リハについては、軽度と重度の間にのみ統計的な有意差がみられた。

以上の結果は、現状の通所介護、通所リハビリテーションは、要介護度と関係なく利用されていたことを示していた。また、訪問介護、訪問入浴、訪問看護は、軽度と中度に異なった利用形態が示されていた。訪問リハビリテーションについては、かなり特徴的な利用がなされていることが推察された。



表 6-33 要介護度区分別サービスの利用の有無

		なし		あり		P 値	
		N	%	N	%		
訪介	軽度	84	68.9%	38	31.1%	軽度⇔中度	
	中度	130	71.4%	52	28.6%	中度⇔重度	**
	重度	86	53.1%	76	46.9%	重度⇔軽度	**
訪入	軽度	118	96.7%	4	3.3%	軽度⇔中度	
	中度	174	95.6%	8	4.4%	中度⇔重度	**
	重度	111	68.5%	51	31.5%	重度⇔軽度	**
訪看	軽度	104	85.2%	18	14.8%	軽度⇔中度	
	中度	145	79.7%	37	20.3%	中度⇔重度	**
	重度	66	40.7%	96	59.3%	重度⇔軽度	**
訪り	軽度	113	92.6%	9	7.4%	軽度⇔中度	
	中度	161	88.5%	21	11.5%	中度⇔重度	
	重度	133	82.1%	29	17.9%	重度⇔軽度	**
通介	軽度	55	45.1%	67	54.9%	軽度⇔中度	
	中度	81	44.5%	101	55.5%	中度⇔重度	
	重度	80	49.4%	82	50.6%	重度⇔軽度	
通り	軽度	84	68.9%	38	31.1%	軽度⇔中度	
	中度	132	72.5%	50	27.5%	中度⇔重度	
	重度	127	78.4%	35	21.6%	重度⇔軽度	
用具	軽度	54	44.3%	68	55.7%	軽度⇔中度	**
	中度	48	26.4%	134	73.6%	中度⇔重度	**
	重度	18	11.1%	144	88.9%	重度⇔軽度	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## (2) サービス利用の組み合わせ

軽度群においては、1種類の利用が39.7%と一番多く、次いで2種類が38.0%と続いた。中度群においては、2種類が45.6%と一番多く、その後3種類以上が31.1%と続いた。重度においては、3種類以上が63.4%と6割以上を占め、その後2種類が30.4%となっていた。

軽度、中度、重度と要介護度が高くなるに従って、サービスの種類が増える傾向が示された。

表 6-34 要介護度区分サービス利用種類数

	1種類		2種類		3種類以上	
	N	%	N	%	N	%
軽度	48	39.7	46	38.0	27	22.3
中度	42	23.3	82	45.6	56	31.1
重度	10	6.2	49	30.4	102	63.4
合計	100	21.6	177	38.3	185	40.0

表 6-35 軽度群のサービス組み合わせ

	N	%
通介	27	22.1
通介、用具	19	15.6
通り、用具	14	11.5
通り	11	9.0
訪介	7	5.7
訪介、用具	6	4.9
訪介、通介、用具	6	4.9
訪介、通り、用具	4	3.3
訪介、通介	4	3.3
訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	4	3.3
訪介、訪看、用具	3	2.5
訪看	2	1.6
訪看、通介、通り、用具	2	1.6
訪介、訪看、通介、用具	2	1.6
なし	1	0.8
用具	1	0.8
通介、通り、用具	1	0.8
訪り、用具	1	0.8
訪り、通り	1	0.8
訪り、通介、用具	1	0.8
訪看、用具	1	0.8
訪看、通り、用具	1	0.8
訪看、通介、用具	1	0.8
訪介、訪看、訪り	1	0.8
訪介、訪看、訪り、用具	1	0.8

表 6-36 中度群のサービス利用組み合わせ（上位 10 位）

	N	%
通介、用具	37	20.3
通介	22	12.1
通り、用具	19	10.4
訪介、用具	13	7.1
通介、通り、用具	10	5.5
訪介、通介、用具	8	4.4
訪看、用具	7	3.8
用具	6	3.3
通り	5	2.7
訪看	4	2.2
訪看、通介、用具	4	2.2
訪介	4	2.2
訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	4	2.2

表 6-37 重度群のサービス利用組み合わせ（上位 10 位）

	N	%
通介、用具	22	13.6
訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	15	9.3
訪看、通介、用具	14	8.6
訪介、訪入、訪看、用具	12	7.4
訪介、訪看、通介、用具	11	6.8
訪入、訪看、用具	8	4.9
訪介、訪看、用具	7	4.3
訪看、用具	6	3.7
用具	5	3.1
訪介、用具	5	3.1

### (3) サービス利用回数

要介護度区分別のサービス利用回数の月平均を分析した結果、軽度、中度、重度とすべて群の間に有意な差が示されたのは、用具貸与だけであった。有意な差が示されたのは、軽度と重度群の間に訪問介護と訪問入浴が示されただけであった。すなわち、用具貸与を除き軽度群と中度群および中度群と重度群において、統計的有意差は見られず、要介護度が高くなってもその提供量は、増加する傾向がないことを示していた。

表 6-38 要介護度区別サービス利用回数の比較

		N	最小値	最大値	平均値	標準偏差	P 値	
訪介	軽度	27	0	48	13.3	11.6	軽度⇔中度	
	中度	52	0	120	14.1	20.0	中度⇔重度	
	重度	73	0	120	21.2	23.8	軽度⇔重度	
訪入	軽度	2	0	0	0.0	0.0	軽度⇔中度	
	中度	8	0	16	3.5	5.4	中度⇔重度	
	重度	51	0	32	5.1	4.6	軽度⇔重度	
訪看	軽度	14	0	16	6.1	4.2	軽度⇔中度	
	中度	37	0	48	7.1	9.3	中度⇔重度	
	重度	96	0	36	7.8	6.6	軽度⇔重度	
訪り	軽度	7	0	8	3.7	3.4	軽度⇔中度	
	中度	21	0	24	4.8	5.6	中度⇔重度	
	重度	29	0	12	3.4	3.2	軽度⇔重度	
通介	軽度	47	4	48	10.3	7.0	軽度⇔中度	
	中度	101	0	64	10.9	7.9	中度⇔重度	
	重度	83	0	52	9.4	9.0	軽度⇔重度	
通り	軽度	23	0	48	9.0	9.3	軽度⇔中度	
	中度	49	0	36	8.7	6.7	中度⇔重度	
	重度	34	0	68	7.9	11.9	軽度⇔重度	
用具	軽度	52	4	8	6.6	1.9	軽度⇔中度	**
	中度	135	4	8	5.1	1.8	中度⇔重度	**
	重度	144	4	8	4.4	1.2	軽度⇔重度	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

(4) 要介護度区分別モデル事業における利用状況との比較

1) サービス利用の有無

要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用の有無をみたところ、すべての群間に統計的有意差がみられた。

表 6-39 要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用の有無

		なし		あり		P 値	
		N	%	N	%		
訪介	軽度	12,499	73.6%	4,489	26.4%	軽度⇔中度	*
	中度	5,110	75.0%	1,699	25.0%	中度⇔重度	**
	重度	1,401	69.1%	626	30.9%	軽度⇔重度	**
訪入	軽度	16,978	99.9%	10	0.1%	軽度⇔中度	**
	中度	6,730	98.8%	79	1.2%	中度⇔重度	**
	重度	1,799	88.8%	228	11.2%	軽度⇔重度	**
訪看	軽度	16,691	98.3%	297	1.7%	軽度⇔中度	**
	中度	6,430	94.4%	379	5.6%	中度⇔重度	**
	重度	1,671	82.4%	356	17.6%	軽度⇔重度	**
訪り	軽度	16,826	99.0%	162	1.0%	軽度⇔中度	**
	中度	6,649	97.7%	160	2.3%	中度⇔重度	**
	重度	1,912	94.3%	115	5.7%	軽度⇔重度	**
通介	軽度	12,558	73.9%	4,430	26.1%	軽度⇔中度	**
	中度	4,189	61.5%	2,620	38.5%	中度⇔重度	*
	重度	1,302	64.2%	725	35.8%	軽度⇔重度	**
通り	軽度	15,334	90.3%	1,654	9.7%	軽度⇔中度	**
	中度	5,772	84.8%	1,037	15.2%	中度⇔重度	**
	重度	1,771	87.4%	256	12.6%	軽度⇔重度	**
用具	軽度	15,646	92.1%	1,342	7.9%	軽度⇔中度	**
	中度	4,793	70.4%	2,016	29.6%	中度⇔重度	**
	重度	936	46.2%	1,091	53.8%	軽度⇔重度	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

2) サービス利用の組み合わせ

サービス利用の種類数についてみたところ、軽度群は1種類が76.6%と一番多く、中度群においても52.2%と少なくなったものの、1種類の利用が一番多かった。

重度群においては、2種類の利用が37.6%と一番多く、3種類以上も35.2%と軽度中度と比較すると多かった。在宅タイムスタディと比較し、1種類利用の割合が多かった。

表 6-40 要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用の組み合わせ数

	1種類		2種類		3種類以上	
	N	%	N	%	N	%
軽度	7490	76.6	1987	20.3	297	3.0
中度	2564	52.2	1715	34.9	629	12.8
重度	422	27.2	583	37.6	547	35.2
合計	10476	64.5	4285	26.4	1473	9.1

表 6-41 軽度群のサービス利用組み合わせ（モデル事業）（上位10位）

	N	%
通介	3071	18.1
訪介	2757	16.2
通り	1095	6.4
訪介、通介	830	4.9
用具	428	2.5
訪介、用具	271	1.6
訪介、通り	258	1.5
通介、用具	244	1.4
通り、用具	130	0.8
訪介、通介、用具	118	0.7

表 6-42 中度群のサービス利用組み合わせ（モデル事業）（上位10位）

	N	%
通介	1293	19.0
訪介	498	7.3
通介、用具	485	7.1
通り	354	5.2
用具	351	5.2
訪介、通介	335	4.9
訪介、用具	255	3.7
通り、用具	253	3.7
訪介、通介、用具	163	2.4

訪介、通り	82	1.2
-------	----	-----

表 6-43 重度群のサービス利用組み合わせ（モデル事業）（上位 10 位）

	N	%
通介、用具	198	9.8
通介	172	8.5
用具	130	6.4
訪介、通介、用具	105	5.2
訪介、用具	94	4.6
通り、用具	75	3.7
訪介	58	2.9
訪介、通介	55	2.7
訪介、訪入、用具	45	2.2
訪看、用具	40	2.0

### 3) サービス利用回数

モデル事業における要介護度区分別のサービス利用回数の月平均を分析した結果、在宅タイムスタディにおいては、用具貸与において有意な差が示されたが、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、用具貸与に軽度、中度、重度とすべて群の間に有意な差が示された。また、中度と重度の間を除き、通所介護、通所リハビリテーションにも有意差が示された。

表 6-44 要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用回数表

		N	最小値	最大値	平均値	標準偏差	P 値	
訪介	軽度	5711	0	93	2.9	6.8	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	100	4.4	11.5	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	104	8.8	19.1	軽度⇔重度	**
訪入	軽度	5711	0	13	0.0	0.3	軽度⇔中度	*
	中度	6809	0	12	0.1	0.5	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	12	0.5	1.7	軽度⇔重度	**
訪看	軽度	5711	0	26	0.1	1.0	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	25	0.3	1.4	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	31	1.1	2.9	軽度⇔重度	**
訪リ	軽度	5711	0	17	0.1	0.8	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	25	0.1	1.0	中度⇔重度	**

	重度	2027	0	25	0.3	1.5	軽度⇔重度	**
通介	軽度	5711	0	72	2.6	4.5	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	92	3.7	5.7	中度⇔重度	
	重度	2027	0	30	3.6	6.0	軽度⇔重度	**
通り	軽度	5711	0	21	0.9	2.8	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	27	1.4	3.6	中度⇔重度	
	重度	2027	0	29	1.3	3.9	軽度⇔重度	**
用具	軽度	5711	0	84	0.2	1.2	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	13	0.7	1.3	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	12	1.6	1.9	軽度⇔重度	**

※サービス利用回数の分析にあたっては、要支援高齢者を除いた。



## 第7章 在宅高齢者に提供されていたケア内容

### 1. 高齢者に提供されたケア内容

#### (1) 高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率

1週間の中で1分でも提供されたケアを発生したとみなし、ケアの発生率を算出した。調査対象高齢者に提供されたケアのうち1%以上発生したケアの発生率を表7-1に示した。

90%以上発生していたケアは、「入浴」、「調理」91.2%であった。80%以上発生していたケアは、「観察・測定・検査」89.8%、「更衣」83.0%、「食器洗浄・食器の片づけ」82.6%、「水分摂取」80.4%、「洗濯」80.2%、「摂食」80.1%、「清掃・ごみの処理」80.0%といったケアで食事、入浴、掃除、洗濯という日常生活の維持に関するケアであった。

70%以上発生していたケアとしては、「外出時の目的地までの移動」72.1%、「薬剤の使用」71.7%で、さらに「移乗」42.1%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」39.4%、「病気の症状への対応」18.6%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」17.4%で、移動や移乗、薬剤や処置にかかわるケアが提供されている高齢者が多かった。「配膳・下膳」、「敷地内の移動」66.3%、「口腔・耳ケア」65.7%、「洗面・手洗い」64.8%、「排尿」64.1%、「排便及びおむつ・パット介助」55.6%、「整容」52.1%といったケアも多く提供されており、排泄や整容においてもケアが提供されていることが明らかにされた。また、「基本日常生活訓練」59.5%と「スポーツ訓練」43.5%、「応用日常生活訓練」39.1%と高い割合が示され、在宅での日常生活訓練の提供がかなり高いことが特徴であった。

また、「清拭」23.8%、「体位変換」21.8%と入浴が困難な高齢者に対するケアも発生していた。さらに、「行動上の問題の予防的対応」が20.8%、「行動上の問題の発生時の対応」16.0%となんらかのBPSDにかかわるケアも2割程度、発生していた。

表 7-1 高齢者に提供されたケアの発生率（上位 20 位）

ケア内容	発生率(%)
11 入浴	91.2
31 調理	91.2
84 観察・測定・検査	89.8
18 更衣	83.0
33 食器洗浄・食器の片づけ	82.6
35 水分摂取	80.4
51 洗濯	80.2
34 摂食	80.1
52 清掃・ごみの処理	80.0
65 外出時の目的地までの移動	72.1
81 薬剤の使用	71.7

21	敷地内の移動	66.3
32	配膳・下膳	66.3
15	口腔・耳ケア	65.7
14	洗面・手洗い	64.8
41	排尿	64.1
101	対象者に関する間接業務	60.5
91	基本日常生活訓練	59.5
42	排便及びおむつ・パット介助	55.6
17	整容	52.1

## (2) 高齢者に提供された合計ケア時間

在宅タイムスタディの対象者となった高齢者に提供されていた合計ケア時間については、以下の表 7-2 のようになった。1 週間に高齢者に提供された合計ケア時間の平均値は、1575.0 分となり、1 日あたりに換算すると 225.0 分（3.76 時間）であった。

最小は 1 日 6.1 分、最大は 770.3 分であった。770.3 分は、時間に換算すると、11 時間であり、1 日あたりのべ約 11 時間にわたって、何らかのケアが投下されたことを意味している。

表 7-2 高齢者に提供されていた合計ケア時間の分布 (N=499)

1 週間平均(分)	1 週間平均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	N
225.0	1575.0	127.5	56.7	6.1	770.3	499

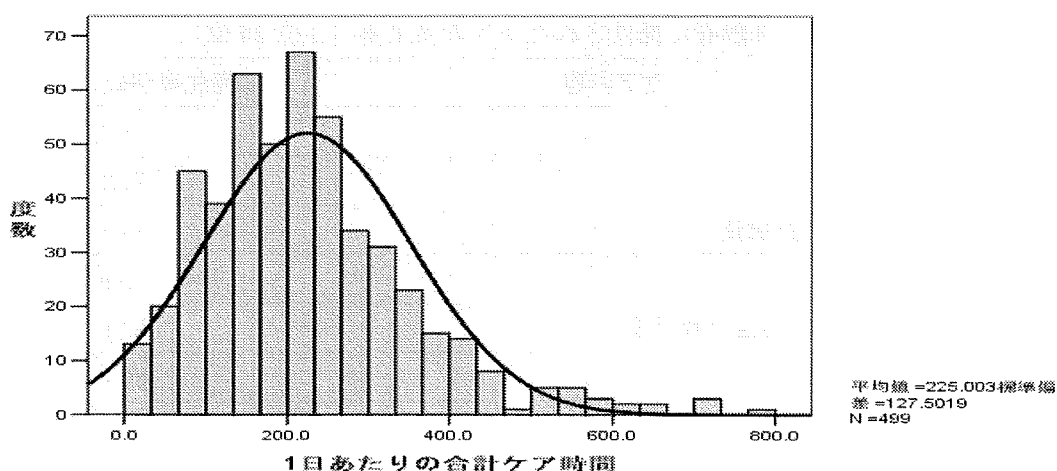


図 7-1 在宅タイムスタディ対象高齢者のケア時間の分布

### 1) 大分類による高齢者に提供されたケア時間

これまで介護保険施設において実施してきた 1 分間タイムスタディ調査結果と本年度に

分析を行った在宅の要介護高齢者タイムスタディ調査の結果を比較するために、介護業務分類コード（資料編：トータルケアコード参照）の大分類別のケア時間およびその内訳を以下の表 7-3、7-4、図 7-2 に示した。

### ① 在宅でのタイムスタディ調査で用いたケアコードの大分類

在宅でのタイムスタディ調査で用いたケアコードの大分類は、(1) 入浴・清潔保持・整容・行為、(2) 移動・移乗・体位交換、(3) 食事、(4) 排泄、(5) 生活自立支援、(6) 社会生活支援、(7) 行動上の問題、(8) 医療、(9) 機能訓練、(10) その他（記録等）である。そこで、従来の介護業務分類コードと一致させるために、(1)、(2)、「31 調理」を除く (3)、(4)、「54 食べ物の管理」、「55 金銭管理」を除く (5)、(7) のケア内容を「療養上の世話」とし、(8) は、専門的看護に分類し、さらに (9) および「67 機能訓練・生産活動」、「68 社会生活訓練」「73 行動上の問題の予防的訓練」については、リハビリテーションと分類した。「63 文書作成」と (10) その他はケアシステム関連とし、その他の内容を在宅ケア関連と分類し、介護保険施設で実施されたケア提供時間と比較した。

### ② ケア時間の調査結果

まず、在宅ケアを受けている高齢者に提供されていた「療養上の世話」は、1日あたり 150.6 分で、全ケア時間の 66.7%であった。これは、施設よりやや低い数値となっていた。施設においては、1日で平均値が 207.9 分で、全体の 73.8%を占めていた。

次に、長かったのは、在宅においては、「在宅ケア関連」という分類にあたる内容であり、調理や洗濯といった内容であるケアが 39.4 分と示され、17.4%を占めていた。

在宅で、これに次いで長かったのは、「専門的看護」に関するケアで 26.1 分、11.6%であった。さらに、「リハビリテーション」は、5.4 分、2.4%であった。これに対して、施設では、「専門的看護」に関するケアが 46.6 分と長かったが、「リハビリテーション」は、4.0 分と在宅とほぼ同じであった。在宅ケア関連は、わずかに 0.2 分である。

在宅では、行事や連絡、申し送りというような「ケアシステム関連」に関するケアは短かく、4.3 分、1.9%であったが、施設では、23.1 分で 8.2%を占めていた。

### ③ ケア時間の考察

この結果から、在宅で最も重篤な介護や看護を必要としている高齢者集団に提供されている合計ケア時間は、介護保険施設よりも在宅のほうが長かった。「療養上の世話」は、両群とも高い割合を示しており、「専門的看護」といった直接的なケアを含めると施設では、全体の約 90%を占めていたが、在宅では、78.3%であった。

在宅において長かったのは、調理などの日常生活を支える「在宅ケア関連」のケアであり、施設では、ケアを提供するシステムを管理するためのケアに時間が費やされていた。

表 7-3 在宅における大分類によるケア時間の平均値 (N=499)

	1日平均 (分)	1週間平 均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	割合(%)
療養上の世話	150.6	1054.5	93.3	61.9	1.4	703.4	66.7
専門的看護	26.1	182.8	62.3	238.5	0.0	566.6	11.6
リハビリテーション	5.4	37.6	13.3	247.8	0.0	155.0	2.4
ケアシステム関連	4.3	30.0	8.8	204.3	0.0	77.1	1.9
在宅ケア関連	39.4	275.8	25.7	65.1	0.0	164.9	17.4

表 7-4 大分類による施設および在宅における平均ケア時間およびその割合の比較

	在宅		介護保険施設	
	1日平均(分)	%	1日平均(分)	%
療養上の世話	150.6	66.7	207.9	73.8
専門的看護	26.1	11.6	46.6	16.5
リハビリテーション	5.4	2.4	4.0	1.4
ケアシステム関連	4.3	1.9	23.1	8.2
在宅ケア関連	39.4	17.5	0.2	0.1
合計	225.8	100.0	281.8	100.0

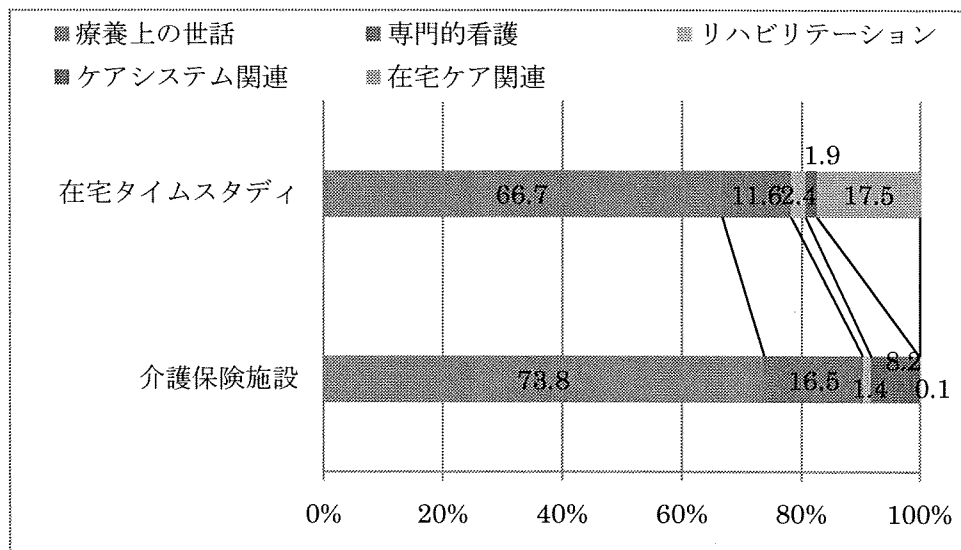


図 7-2 大分類によるケア割合の比較

### (3) 発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

在宅において発生したケアのケア時間について検討した。ここでは、ケアが全く発生し